

高収益栽培！ 特産物の 育成で 村おこし



一寸ソラマメの共同選果の様子。
出荷規格を厳守することが大切。

13 水田裏作利用に 一寸ソラマメを



元・農業改良普及員
(サンショウ研究家)
ないとう かず お
内藤 一夫

この連載では、中山間地でも、比較的手がかからず市場出荷においても競合が少ない品目の栽培を経営の参考に毎回解説していただきます。

一寸ソラマメの 消費動向と市況

ソラマメは旬を味わうことのできる代表的な野菜で、タンパク質と炭水化物に富み、消費者に親しまれています。また、青実用の消費は、主に塩ゆでして利用されるほか、菓子加工などがあります。最近の市況は第1表の通りです。

栽培のポイント

●栽培の適地条件

①生育温度は16～20℃で、耐暑性が弱く、20℃以上では生育が衰える。また、耐寒性も弱く、莖葉は花芽分化するとマイナス5℃で枯死することがある。しかし幼苗期はかなりの低温に耐えられる。日照時

間は多い方がよい。

- ② 耕土の深い壤土や粘質土壌に適する。水田は保水性がよく、生育がよくなる。また、酸性土壌を嫌うため、最適pH6・0に矯正する。
- ③ 連作障害が発生するので、畑では4～5年の休耕が必要。水田の場合はその心配が少ない。

●作型と品種の選択

作型には、露地栽培とビニールトンネル栽培、ハウス無加温栽培、ハウス加温栽培などがありますが、今回は保水性のよい水田裏作の露地栽培をご紹介します。品種は「仁徳一寸」「三連」がおすすです。

●育苗と播種方法

育苗方法は、床まき育苗またはビニールポット育苗で行います。種子

は流水に一晩浸漬してからまくと、発芽がよくなります。播種方法については図を参照してください。

●耕起と畝づくり、施肥設計

稲刈り後、圃場全面に完熟堆肥と苦土石灰を散布し、全面耕を行って、畝幅120cm、畝の高さ30cmとします。その上に千代田化成550を散布し、土壌を十分かくはんしておきます。施肥設計は第2表の通りです。

●定植

播種後、約2週間すれば草丈5～6cmとなり、この時期が定植適期となります。大苗育苗をする場合は、育苗期間を1～2週間長くする必要があります。

●支柱立て

4月中下旬ごろになれば、草丈

が60～70cmになり倒伏しやすくなるので支柱立てをします。直径約3cm、長さ150cmの支柱を4mごとに畝の外側に打ち込み、縄を2段に張り、収穫が終わるまで置いておきます。

●病害虫防除

耕種的防除を重点的に行い、薬剤防除は登録農薬の関係もあり、補助的に考えて実行します(第3表)。

●収穫・選果・箱詰め・出荷

11月10～15日ごろ定植したものは翌年6月上中旬ごろ収穫期となり、莢の着生が水平か下垂してきたものを5～6回程度で収穫するようにします。収穫したものは、作業場の冷暗所にむしろを敷き、その上に一列に並べ、麻袋をかけ、蒸れないようにしてから選果、箱詰めをします。



↑畑での平床直播育苗。
発芽が良好である。



↑「仁徳一寸」の箱詰め。豆の大きさは約
3 cmの大粒で3粒莢が多いのが特長。



↑莢が下垂または水平になっ
てきたものを収穫する。

選果、箱詰めについては、出荷規格を厳守しましょう。箱詰め後、出荷までは保冷庫を、出荷には保冷車を利用します。一寸ソラマメの経営的成果は第4表を参照してください。

第1表 ソラマメの年度別、月別取扱量と金額、平均単価

(京都市中央卸売市場)

年	区分	月			摘要
		5	6	7	
平成17年	数量 (kg)	43,318	14,984	2,524	5月 愛媛県、鹿児島県
	金額 (円)	16,220,884	4,823,605	1,240,470	6月 滋賀県、新潟県
	平均単価 (円/kg)	374	322	491	7月 北海道、青森県
平成18年	数量 (kg)	40,801	15,348	2,082	5月 鹿児島県、熊本県
	金額 (円)	21,055,497	7,002,562	1,175,076	6月 滋賀県、愛媛県
	平均単価 (円/kg)	516	456	564	7月 北海道、青森県
平成19年	数量 (kg)	51,797	14,252	3,366	5月 愛媛県、熊本県
	金額 (円)	17,618,395	5,133,731	1,647,451	6月 滋賀県、青森県
	平均単価 (円/kg)	340	360	489	7月 北海道、長野県

第2表 一寸ソラマメの施肥設計

(10 aあたり)

肥料名	施用量 (kg)	元肥量 (kg)	追肥		三要素成分		
			1回	2回	N(kg)	P(kg)	K(kg)
完熟堆肥	3,000	3,000					
苦土石灰	100	100					
BM熔リン	20	20				4	
千代田化成 550 (15-15-10)	60	40	10	10	9	9	6
硫酸カリ	10		5	5			5
計					9	13	11

- 定植後、越冬するまでに第1回の除草、中耕、土寄せを行い初期生育の促進を図る。
- 追肥は翌年の2月下旬ごろ、第2回目の除草、中耕、土寄せの際、1回目の追肥をする。2回目は3月下旬ごろに行う。

第3表 病害虫防除

病害	モザイク病
	立枯病
	褐斑病
	赤色斑点病
虫害	さび病
	アブラムシ
	ソラマメソウムシ
	スリップス

- ※薬剤防除は登録農薬を使用する。
※耕種的防除法を重視すること。
1. 日当たりや通風が良好な所で栽培すること。
 2. 排水良好な圃場で連作を避けること。
 3. 防水ネット（「サンサンネット」使用）を張り、アブラムシ類の飛来を防ぐ。
 4. 種子消毒を十分行い、健苗の育成を図る。

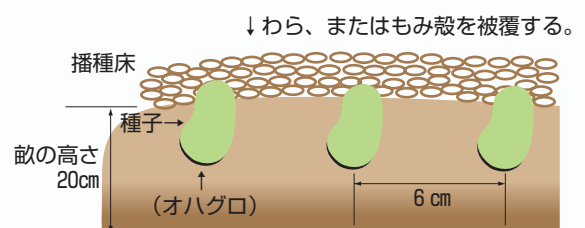
第4表 一寸ソラマメの経営的成果

(10 aあたり)

項目	数量	摘要
収量	1,500kg	10a当たり収量上位の場合
単価	400円	京都市中央卸売市場(3カ年平均)
粗収益	600,000円	
経営費	180,000円	
所得	420,000円	
所得率	70%	
労働時間	240時間	
1時間当たりの所得	1,750円	

注) ソラマメの収穫労力は市町村のシルバーセンターなどを活用すればよい。

一寸ソラマメの播種方法



- 播種期は10月10～15日ごろ。播種量は10aあたり10～12ℓ、約2200～2400粒(補植分を含む)とする。
- 床まき育苗の場合は、畝幅120cm、条間6cm、株間約8cmにまく。